

▶都市農村交流事業
の歓迎セレモニー



◀夢中で川遊びをする参加者

平成29年度
21世紀土地改良区創造運動

大賞「農都交流クリエイター」

栃木県 水土里ネット荒川南部

都市住民との交流やひまわりの植栽活動により 地域が活気づいて住民の参加意欲が向上

東京都豊島区と連携し 多彩な交流プログラムを実施

水土里ネット荒川南部は、栃木県那須烏山市の南部に位置し、一級河川の荒川沿いに広がる水田地帯を管轄しています。この地域は豊かな自然環境に恵まれ、ホトケドジョウやタガメ、トウゴクヘラオモダカなどの貴重な動植物が生息していることから、平成13年からほ場整備を実施した際も「いかに自然環境を保全していくか」が課題となりました。その実現のため、生態系保全工法を取り入れ、水田魚道などの施設を設置したことが、地域全体で環境への意識をさらに高めるきっかけとなったのです。

こうした背景を受け、農業と自然環境の共生を図り、地域資源や農村環境を次世代に引き継ぐために、水土里ネットによる21創造運動がスタートしました。

なかでも力を入れているのが、都市農村交流事業です。ほ場整備の実施が決まった際、事業への理解を深めるために開催したシンポジウムで、地元の参加者から「ほ場整備や生態系保全の大切さを、都会の人にも知ってもらうべ」という意見が出されたことで、都市との交流事業に取り組もうという機運が高まりました。

そこで平成17年度からスタートしたのが、従来から那須烏山市が防災協定を結んでいた東京都豊島区との都市農村交流事業です。

年に1回、豊島区の住民を招き、カヌーや釣りなどの川遊び、カブトムシの捕獲や山寺での座禅体験、トウモロコシの収穫体験、化石探しなど、1泊2日で多彩なプログラムを体験してもらいます。参加者は自治体を通して募集しますが、事業内容の企画や会場の手配、当日の対応など、現場の運営は水土里ネットが主体となって実施。参加者に楽しんでもらえるよう、創意工夫を凝らしています。

また、移動の際にはほ場整備された水田の中を歩いてもらったり、水路などの施設を見てもらったりすることで、水土里ネットの活動や整備事業への理解を深めてもらうきっかけ作りにもしています。

参加者からのアン



トウモロコシ収穫体験では組合員から熟し具合を教わる

位置図





▲休耕田を活用してひまわりを植栽

▶田んぼ公園での生き物調査の様子



◀捕獲した生き物を調べ、いきものマップを作成

ホタル観察会や植栽活動で 地域外の人たちを呼び込む

ケートには、「都会にはない地域のつながりに触れることができました」「温かいおもてなしで、忘れがたい思い出ができました」「小学生の子どもにとっても新しい発見の連続でした」といった好意的な感想が並び、水土里ネットの組合員も活動への参加意欲を年々高めています。

都市農村交流事業と併行して、多面的機能支払交付金を活用した活動にも積極的に取り組んでいます。

平成14年からは、整備事業によって完成した「猿久保田んぼ公園」やその周辺でホタル観察会を実施。ホタルの生息地を保全するため、土水路の草刈り等も定期的に行っています。

また同年から、地域住民も参加して生き物調査や観察会を行っています。ほ場整備の際は、保全すべき動植物をいったん移植・移動させ、事業実施後に生息可能な場所へ戻す取り組みも行いました。猿久保田んぼ公園の完成後は、公園の池や土水路を中心に、組合員や地域住民、子どもたちが参加して、生き物調査や観察会を定期的に行っています。

休耕地等を活用して、彼岸花やひまわりの植栽も行っています。彼岸花は水土里ネットも構成員として参加する地域保全会が、ひまわりは水土里ネットが地元の農事組合法人と連携して、維持管理等を行っています。こうして地域を挙げて大切に栽培した結果、開花の時期には市外からも多くの人が訪れる観光スポットに発展しました。

獅子舞やどんど焼きなど 伝統文化の継承にも注力



無病息災と五穀豊穡を願う「どんど焼き」

えて、獅子舞やどんど焼きなどの伝統文化を継承する活動にも力を入れています。

こうして、非農家の地域住民とともに力を合わせて様々な活動に取り組むことで、「地元を盛り上げるための活動に参加したい」という意識が地域全体で高まっているのを感じます。今後も様々なアイデアを出し合いながら、若い後継者や次世代を担う子どもたちに活動が引き継がれるよう努めています。

水土里ネット概要

水土里ネット名	水土里ネット荒川南部
役員数	18名
職員数	非常勤2名
組合員数	147名
受益面積	82ha

*平成29年4月現在

この地域保全会は

多面的機能支払交付金を受けて活動する組織で、水土里ネットの他に農業者や各自治会、消防団などが参加しています。

先ほど紹介した植栽活動の他、農道の草刈りや整備、農業用施設の修繕などに加